

科目区分：スポーツ指導者養成コース
授業科目：総合型地域スポーツクラブ論
担当教員：堺 賢治
受講生数：18名

総合型地域スポーツクラブ論

保健体育・堺 賢治

1. 授業の目的

スポーツ社会学の視点から、総合型地域スポーツクラブを捉え、現状と問題点を把握するとともに、その改善点を探る。

2. 授業の概要

地域スポーツの現状と問題点
総合型クラブの必要性
総合型クラブの機能
愛媛大学総合型クラブ
ドイツのスポーツクラブ
総合型クラブの視察

3. 学生の評価

(1) 授業にどのように取り組んだか

日本やドイツの総合型クラブのことで知り、愛媛大学総合型クラブの活動に生かしていけるような知識を身に付けたいと思って取り組んだ。また、将来地域のスポーツ活動に関わって行くことが出来たら良いと思っているので、今の地域スポーツのこと総合型クラブのことを思い一生懸命取り組んだ。

総合型クラブに関心があるため、授業で配られた資料によく目を通し、先生が話していることと結びつけながら取り組んだ。

講義中に先生がポイント有りの質問を出してくれていたため、少しでも答えて、ポイントがかせげたらいいなと思いながら授業を受けていた。

一つの授業の中で、最終的に質問を一つ考えなければいけないということだが、それだけで、トータルの集中力が上がったと感じる。だから、授業を理解しようと必死だったり、SAスポーツクラブの視察でも責任者として、みんなを引っ張ることができた。

私は、総合型クラブにとっても興味がある

ので寝ずに授業を聞くことができた。

(2) Q & A の授業の感想

授業中、疑問に思ったことをもっと知りたいことを質問でき、その一つ一つの質問に対して答えて下さるので理解を深めることが出来た。自分自身が質問した内容だけでなく、他の人の質問と質問解答を聞くこともすごく勉強になった。

授業で疑問に思ったことや、分からないこと、関心を持ったことなどをそのままにしておくのではなく、Q & A の形式で理解を深めていくことができたと思う。

質問を考えないといけないことから、配布された資料や講義での話をしっかり聞くようになったので、よい取り組みだと感じた。また、些細なことでも質問できるので、ちょっと知りたいけど聞きにくい程のレベルではないという質問でも対応してもらうことができるので良かった。

毎回の授業の質問を次の時間に解決してもらえるので、まだ知識があるうちに再確認できた。私が質問した南宇和高校については、Q & A の時間に論文をもらったので、具体的に学べた。地域とスポーツを連携させることで、幼い頃からの一貫教育を目指すことが、強豪校を育てたということが分かった。

自分が疑問に思ったことに答えてくれるので、分からないが残らず、次の授業に行けるのでQ & A の授業はよいと思われます。

(3) 生涯スポーツチェック 99 にどの程度の時間をかけたか

体育館の方への依頼、回答回収、質問項目、質問回答の打ち込み、資料集めなどを合わせて1週間以上はレポート作成に

時間を費やした。地元の体育館のことを調べてみて、ただ利用するだけではわからないこと、利用者への心配りなどが99の質問に解答することでわかったり、気付くことができた。また、高校時代によく利用した体育館をするにあたり、顔を知っている施設の方々と久しぶりにお話出来る機会にも恵まれた。改めて地域にあり、その地域に根付いたスポーツ施設の大切さを感じた。

地域のスポーツ施設について、インターネットや見学などを行い、4日ぐらいの調査・まとめを行いレポートにまとめた。今までは、ただ、利用しただけで、今回チェックを行い、その施設だけでなく、その施設のマネジメントなどにおいて、関心すらなかったが、今回チェックを行い、その施設だけでなく、他の施設の比較などをしてみたいと思った。

データを集めるには、時間がかかったが、レポート作成に関しては、それ程時間はかけていない。自分が思っていたことを率直に書いていった。

生涯スポーツチェック99では、実際に地元の施設に行ってインタビューをし、主観的な要素を取り入れて○×△で判定した。地元の体育館だったので、全て知っているつもりだったが、施設でも知らないところがあったり、地域との密着度など、細かい部分が新発見できた。

レポート作成に2日、施設訪問に1日、地元の施設などで中学校まで自らが見聞きしていたデータをもとに考えた。

(4) 授業全体の感想

地域スポーツ、総合型クラブ、ドイツのスポーツクラブのことなどについて学び、授業を受ける前よりさらに総合型クラブに興味を持った。ドイツに視察に行かれたときの話では、日本との環境面、文化面での違いに驚き、私も機会があればぜひドイツに行ってみたいと思った。SAスポーツクラブ、ゆうスポーツクラブの視察では、実際にそのスポーツクラブに足を運んで、資料だけでは分からないことを見たり、聞いたりすることで理解でき、印象に残った。また、生涯スポーツチェック99のレポートに取り組む時には、地元のスポーツクラ

ブ施設、総合型クラブなどについて知ることができて、改めて将来は地元のスポーツ活動にかかわり、4年間大学で学んだことを生かして、総合型クラブの活動やスポーツイベントを盛り上げて、地域スポーツに貢献できたら良いと思った。

一番印象に残っているのは、やはり、山口県の総合型クラブの視察である。いつもは、資料を読んで学ぶだけで、実際にはどのような感じなのかという疑問を感じていた。しかし、実際に視察をして、そのスポーツクラブのマネジメントや、行っていること、成り立ちなどを学ぶことができた。また、愛媛大学総合型クラブとの違いを比較し、これから私たちが取り組むべきことを考えることができた。

この授業の印象としては、Q & Aがあるということだ。また、先生も、途中で質問をはさみながら、授業を進めていたので、ただ聞くだけでなく、「考える授業」だった。また、視察に行ったり、今度スポーツイベントにも参加するなど、実際に行ってみたり聞いたりする授業なので楽しかった。

総合型クラブのことについて、プリントやスライドで理解するだけでなく、実際に山口県まで行き、内部のことについて知ることができたし、自分の知識と現場を結びつけることができた。また、パンフレットなど図や絵、写真を通して、親しみを理解につなげたことが良かった。

真面目な話から面白い話まで幅広い内容だったので飽きずに授業を聞くことができた。山口県に視察に行ったことも良い経験になりました。

スポーツクラブのことについて、講義を受けたり、視察したりして、スポーツクラブの運営について興味を持つようになりました。

4. おわりに

(1) 総合型クラブの理論と実践を見せることは非常に有意義であった。

(2) Q & Aの授業は、質問しない学生への対応策であったが、学生の理解度を高める効果があった。

(3) 日本の最先端に行く、ゆうスポーツクラブとSAスポーツクラブの視察は学生のレベルアップのために良かった。

